

『三郷市史』第1巻～第10巻 目次

第1巻 原始古代中世資料編

原始編

第1章 市内遺跡の所在調査

第1節 分布調査の結果

第2節 田中新田出土と伝える考古資料

第3節 遺跡確認調査の結果

古代編

第1章 ヤマト政権と東国

第2章 律令国家の地方支配

第3章 「葛飾」の人々と生活

第4章 古代国家の変容と下総

第5章 国の争乱

中世編

第1章 下河辺庄と葛西御厨

第1節 下河辺庄と下河辺氏

第2節 葛西御厨の立庄と展開

第3節 周辺地域の動き

第2章 下河辺庄の展開と流通

第1節 下河辺庄の村々

第2節 市と関

第3章 下河辺庄と葛西御厨の衰退

第1節 戦国期の下河辺庄

第2節 戦国期の葛西御厨

第4章 寺社・板碑と人々の信仰

第1節 寺社と信仰

第2節 板碑と信仰

第2巻 近世史料編Ⅰ

第1章 近世村落の成立と領主支配

第1節 近世村落の成立と新田開発

第2節 検地と年貢

第3節 二郷半領の支配と千代田家

第4節 領主支配の展開

第2章 村と人々の生活

第1節 村々の様相

第2節 村の生活

第3節 三郷市域の鷹場

第3章 諸産業の展開

第1節 農業

第2節 農間渡世の展開

第4章 人足役の動員

第1節 鹿狩り人足の動員

第2節 助郷役

第5章 村秩序の変容

第1節 村々の騒動

第2節 年貢をめぐる農民の抵抗

第3節 近世後期の農村取り締まりと休日議定

第4節 関東取締出役と改革組合村

第3巻 近世史料編Ⅱ

第1章 水との生活

第1節 江戸川・古利根川の堤普請

第2節 用悪水路の整備

第3節 用水をめぐる訴訟と議定

第4節 水害

第5節 水害の救済

第6節 川船と漁猟

第2章 寺社と村びと

第1節 由緒・除地と寺社明細

第2節 信仰と祭礼・開帳

第3節 住職の転住と村

第4節 寺社の維持と経営

第3章 道中日記と祝儀・不祝儀

第1節 道中日記

第2節 祝儀・不祝儀

第4巻 近代史料編

第1章 川沿いの村の「変革」

第1節 小管県下の三郷市域

第2節 地方政治の新時代

第3節 揺れ動く暮らし

第2章 四村の誕生

第1節 新村の成立—彦成・早稲田・戸ヶ崎・八木郷—

第2節 農業の進展

第3節 生活の変容

第3章 日露戦争の前後

第1節 村是の調整

第2節 出征と留守家族

第3節 戦後の経営

第4章 村と水害

第1節 学校の充実

第2節 米作の発展

第3節 明治四十三年水害の被害と復興

第5章 停滞する時代

第1節 村の融和

第2節 村をこえて

第3節 御猟場と御下賜金

第6章 開発への指向

第1節 暮らしと教育

第2節 農業の改良

第3節 水利と河川改修

第5巻 現代史料編

第1章 戦間期の四村

第1節 村政と学校

第2節 農業と水利

第3節 共和橋と八条橋

第4節 藁工品同業組合

第5節 村民の生活

第2章 戦時下の生活

第1節 昭和一三年水害と第二大場川

第2節 戦時下の農業

第3節 四村から三村へ

第4節 「銃後」の諸相

第3章 発展する近郊農村

第1節 農地改革と強制供出

第2節 治水の復興・用水の改良

第3節 近郊農業の躍進期

第4節 六・三制教育の出発

第5節 戦後の村造りと三村合併

第4章 都市化する三郷

第1節 宅地化の進展

第2節 都市化の中の市民生活

第3節 武蔵野線とみさと団地

第4節 将来計画に見る三郷

第6巻 通史編 I

第1編 原始古代の三郷

川が育んだ地域・・・原始古代三郷の位置

第1章 狩猟の時代

第1節 先土器時代のころ

第2節 変わる生活舞台と縄文人

第3節 先土器・縄文時代の三郷市域

第2章 農耕生活の始まり

第1節 東日本に伝わった弥生文化

第2節 本格的な水田稲作の始まり

第3節 発展する農耕集落

第3章 国土統合への歩み

第1節 古墳の出現

第2節 広がる古墳文化

第3節 国造と部民

第4章 律令制度と三郷

第1節 律令制度の浸透と三郷

第2節 戸籍の作成

第3節 川と生活

第4節 古代の宗教と民衆

第5章 東国の争乱

第1節 九世紀の東国

第2節 十世紀の東国

第2編 中世の三郷

川が育んだ地域・・・中世三郷の位置

第1章 鎌倉時代の三郷市域とその周辺

第1節 下河辺荘と葛西御厨の成立と展開

第2節 周辺地域の動き

第3節 鎌倉幕府の開設

第4節 下河辺氏の活躍

第5節 葛西氏の活躍

第2章 南北朝・室町時代の三郷市域周辺

第1節 内乱と鎌倉府をめぐる政治情勢

第2節 市の発達と関

第3節 東国の動乱と市域周辺

第3章 下河辺荘の村々と農民

第1節 下河辺荘の村々と景観

第2節 三郷市域の景観復原

第3節 中世の開発と水利

第4節 村落における支配と抵抗

第5節 農民生活の諸相

第4章 戦国時代の三郷市域とその周辺

第1節 戦国大名北条氏の展開

第2節 市域周辺の戦争と平和

第3節 川の氾濫と戦国の人々

第4節 近世への胎動と市域周辺

第5章 中世の寺社・板碑と人々の信仰

第1節 真言宗の展開と市域の寺院

第2節 曹洞禅宗と浄土真宗・日蓮宗の展開

第3節 『本土寺過去帳』にみる市域の人々

第4節 下河辺荘を訪れた僧侶・御師・連歌師

第5節 “もの”からみた信仰 一板碑・鰐口・棟札一

第3編 近世の三郷

川が育んだ地域・・・近世三郷の位置

第1章 江戸時代の始まり

第1節 幕府の成立と二郷半領の支配

第2節 村の成立と開村伝承

第2章 村のなりたちとしくみ

第1節 葦の茂る村

第2節 検地と村

第3節 村役人と支配

第4節 年貢の負担

第3章 公儀支配と村

第1節 二郷半領と用元役

第2節 鷹場の村

第3節 将軍の御鹿狩と人足役

第4章 水路の管理

第1節 川沿いの村々

第2節 水にまつわる話

第3節 用悪水路の整備

第4節 用悪水路の管理

第5節 水をめぐる争い

第5章 水との闘い

第1節 水害

第2節 水害と川堤の普請

第3節 水害の救済

第6章 村の稼ぎと商い

第1節 農業

第2節 諸産業の展開

第3節 川船と漁猟

第7章 村人の生活

第1節 村の一年

第2節 つきあいと人の一生

第3節 旅に出る人々

第4節 村の文化

第8章 村の寺社と信仰

第1節 近世の寺社

第2節 信仰と祭礼

第3節 住職の転住と村

第4節 寺社の維持と経営

第5節 墓石からみた村社会

第9章 幕末期の政治と社会

第1節 変わりゆく村

第2節 文政改革と組合村の結成

第3節 助郷の負担をめぐって

第4節 維新前夜の様相

第7巻 通史編Ⅱ

第4編 近代の三郷

川沿いの村の近代・現代

第1章 川沿いの村の「変革」

第1節 小管県下の三郷市域

第2節 地方政治の新時代

第3節 明治初期の教育

第2章 新しい地方制度の下に

第1節 新村の成立

第2節 学校の充実

第3節 農会の成立と村是の調整

第4節 交通をめぐって

第3章 日露戦争前後の村の生活

第1節 村における兵役と戦争

第2節 戦後における「国民」の創出

第3節 信仰と遊興

第4章 村と水害

第1節 水害と治水

第2節 米作の発展

第3節 御猟場と民間猟区

第5章 開発への指向

第1節 村の融和と河川改修

第2節 産業構造の変化と農業の改革

第3節 大正期の暮らしと教育

第6章 政党政治の末端で

第1節 村政と財政

第2節 社会の軍事化と教育

第3節 大場川改修事業の発足

第4節 農業の展開と地主制

第7章 「満州事変」と昭和恐慌

第1節 「満州事変」下の村々

第2節 恐慌期の村財政

第3節 大場川改修事業の完成

第4節 農業恐慌の渦中で

第5節 商工業と交通

第8章 日中戦争下の村民生活

第1節 国民精神総動員

第2節 銃後の四村

第3節 国民生活の統制

第4節 昭和一三年水害と第二大場川

第5節 農業における戦時統制

第9章 太平洋戦争

第1節 村の翼賛運動

第2節 健民強兵優良の村

第3節 村々の戦争体験

第4節 東和村の誕生

第5節 昭和一六年水害と第二大場川の延長

第6節 濁水との闘い

第7節 戦時下の商工業

第8節 食糧増産と地主制の動揺

第10章 戦後民主化

第1節 村々での民主化

第2節 基盤の弱い民主主義

第3節 カスリーン台風

第4節 水利の整備

第11章 三郷村の誕生

第1節 一九五〇年代の村民生活

第2節 三村合併へ

第3節 二郷半領土地改良区と江戸川用水改良事業

第4節 近郊農業の躍進

第12章 都市化の進行

第1節 町から市へ

第2節 地域と学校

第3節 高度成長期の産業と交通

第4節 「農工共栄」の夢の行方

第5節 深刻化する公害

第6節 戦後の治水対策と三郷放水路

第7節 都市化時代の住民自治と財政問題

第8節 武蔵野線とみさと団地

第8巻 別編自然編

第I部 三郷の古環境変遷と土地環境

- 1 地球環境と三郷
- 2 三郷市とその周辺の地形
- 3 中川低地と三郷の地質
- 4 珪藻化石群集からみた最終氷期以降の東京湾の変遷史
- 5 花粉化石からみた三郷の環境変遷史
- 6 プラント・オパールからみた三郷の古環境
- 7 有孔虫化石群集からみた三郷市およびその周辺地域の古環境
- 8 砂礫からみた三郷市周辺の古環境

第II部 三郷の自然と災害

- 1 地震
- 2 河川・水路の変遷と水害史
- 3 三郷市の地盤沈下災害

第III部 三郷の植物と動物

- 1 三郷の植物

2 三郷の鳥

第IV部 資料

1 三郷市内のボーリング柱状図

第9巻 別編民俗編

第1章 三郷市の自然と歴史

第1節 三郷市の自然条件

第2節 三郷市の歴史

第2章 経済と民俗

第1節 農業と生産技術

第2節 交易

第3節 職人

第4節 衣・食・住

第3章 社会と民俗

第1節 ムラの歴史とその姿

第2節 ムラの秩序と人々の構成

第3節 家族と親族

第4節 人の一生

第4章 祭りと芸能

第1節 村の祭り

第2節 家の祭り

第5章 神と仏

第1節 村の神と家の神

第2節 寺と堂

第3節 講と信仰

第6章 暮らしと物語

第1節 他の土地とを結ぶ物語

第2節 暮らしを支える物語

第3節 暮らしのなかの物語

第4節 暮らしの物語

第7章 水害をめぐる民俗

第10巻 別編水利水害編

原始・古代

第1章 地形のなりたちからみた河川

第1節 気候の変動と海面変動の歴史

第2節 三郷市の地形と水

第2章 奥東京湾における縄文時代中期の石材の動き

第3章 物流と文献からみた河川

第1節 古墳時代と古代の河川

第2節 古代文献からみた河川

中 世

第1章 鎌倉時代の利根川流域

第1節 三郷市域をとりまく水系

第2節 利根川水系の荘園

第3節 陸と水の街道

第2章 南北朝・室町時代の利根川流域

第1節 河川とひとびとの暮らし

第2節 河関と市

第3節 利根川下流域の信仰

第3章 戦国時代の利根川流域

第1節 後北条氏の水運支配

第2節 利根川の増水・氾濫とひとびとの生活

第3節 築堤と水利そして開発

近 世

第1章 「利根川東遷事業」と三郷周辺の村

第1節 幕府の治水政策と利根川各地の改修

第2節 江戸川のなりたちと二郷半領

第2章 三郷市域の用・悪水路の整備

第1節 大場川と不動堀の開削

第2節 本田用水・新田用水の成立

第3節 小合溜井の造成と争論

第4節 近世後期の水路改修

第3章 水害と救済

第1節 三郷周辺の水害

第2節 水害の救済

第4章 川と農民生活

第1節 農民の生活

第2節 下肥船

近代

第1章 明治前期の河川対策とその利用

第1節 水辺に生きる

第2節 明治期の河川管理

第3節 治水要求のはじまり

第2章 河川法の施行と河川改修のはじまり

第1節 陸軍参謀本部『偵察録』の世界

第2節 河川法

第3節 河川改修の計画

第3章 明治四三年水害と内務省直轄江戸川・中川改修工事

第1節 明治四三年水害

第2節 内務省直轄工事をめぐって

第3節 水害を生きぬく

現 代

第1章 昭和前期の水と農業

第1節 大場川筋用排水改良事業

第2節 昭和前期の水害と農業

第3節 第二大場川の開削と戦時食糧

第4節 江戸川の濁水と二郷半領用水改良事業

第2章 都市化の進行と治水・水利

第1節 カスリーン台風水害

第2節 都市化にともなう土地利用と景観の変化

第3節 カスリーン台風以降の水害

第4節 治水・利水事業進展のなかでの三郷

第3章 水と生活

第1節 井戸と水道

第2節 下水道

第3節 川と交通

第4節 川がもたらす資源

第5節 水と遊び

民 俗

第1章 漁をめぐる民俗

第1節 農家の知恵

第2節 漁家の知恵

第2章 水をめぐる民俗

第1節 水と生活

第2節 水害をめぐる民俗

第3節 水と儀礼・信仰